

ハイパーカミオカンデ^{けんがくかい}見学会^{はなし}のお話③

暑い^{あつ}だけでなく、雨が降^{あめ}らないので、あちこちでダム^{みず}の水不足^{ぶそく}がニュースにな
っていますね。一時期^{いちじき}コメ不足^{ぶそく}やコメの価格高騰^{かかくこうとう}も話題^{わだい}になっていましたが、
今年^{ことし}もコメが不作^{ふさく}となると、日本^{にほん}の主食^{しゅしょく}がどうになってしまうのか心配^{しんぱい}です。

さて、今回^{こんかい}はハイパーカミオカンデ^{けんがくかい}見学会^{かいめ}についての3回目^{ぜんかい ぜんぜん}です。前回^{かい}、前々^{ぜんぜん}
回のつづやきをまだ読^よんでいない人^{ひと}は、そちらを先^{さき}に読^よんでくるのがおすすめ
です。

6/28^{こうえんかい つづ}の講演会^{けんがくかい}に続き、6/29^{ほんばん}は見学会^{しゅうごう}の本番^{ぼしょ}でした。集^ひ合場所^{だし}は飛騨市^{かみおか}の神岡
町^{ちょう}コミュニティセンター^{かみおかこうみんかん}（神岡公民館）で、1回^{かい}ごとの参加者^{さん}は50名^{かしゃ}。20分^{めい}ほ
どの解説^{かいせつ}動画^{どうが}と簡単^{かんたん}なレクチャー^うを受け、2台^{だい}のバス^{ぶんじょう}に分乗^{かたみち}して片道^{ふん}30分^{ふん}ほど
かけて現地^{げんち}に向かいます。残念^{ざんねん}ながら、
坑道^{こうどう}の中^{なか}を走^{はし}るバスからの写真^{しゃしん}撮影^{さつえい}は
できなかつたため、いきなり巨大^{きょだい}水槽^{すいそう}が
入^{はい}る空間^{くうかん}の底^{そこ}からになります。

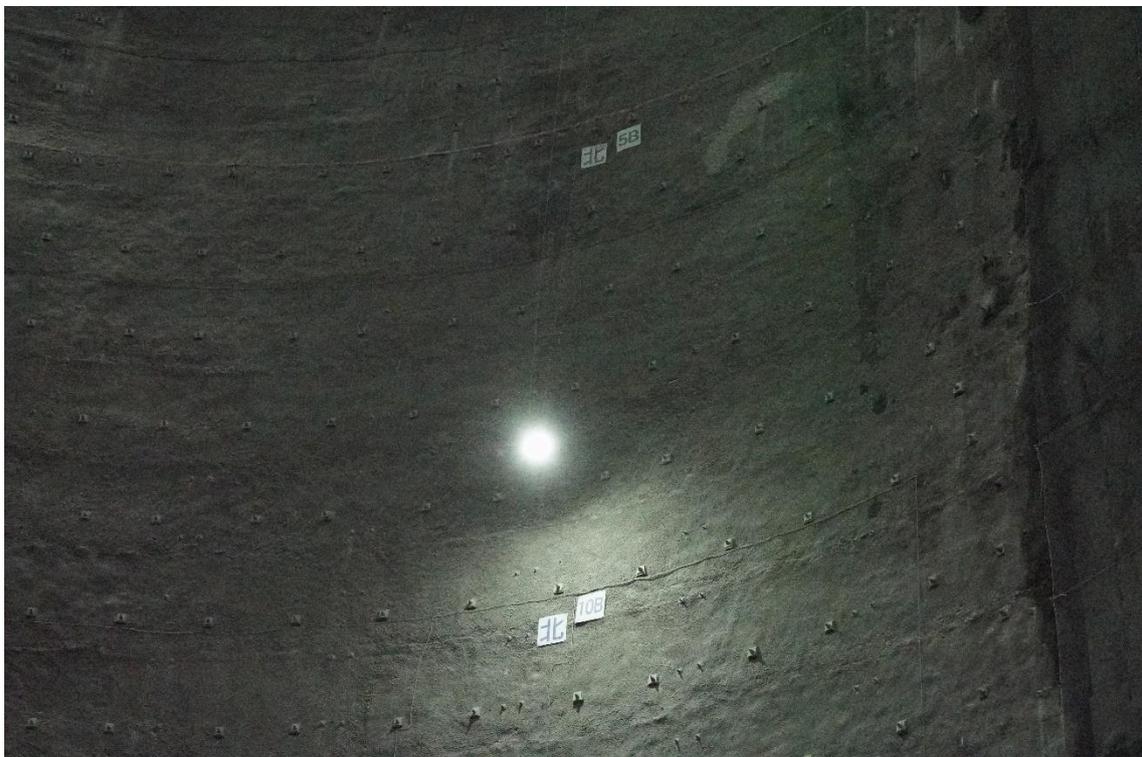


空洞^{くうどう}の底^{そこ}につながっていた坑道^{こうどう}。高さ5,6mほどあり、
工事^{こうじ}では砕^{くだ}いた岩石^{がんせき}の運び出し^{はこびだし}に使^{つか}われていた。

こうじでは、天井のドーム部分を掘ったあと、
円筒部分の中央に下まで直径1mほどの穴を
掘りました。その穴のまわりの岩石を上から数m
ごとに爆破して砕き、できた岩石は穴に落とし
て、下の坑道から運び出す、という作業を繰り返
したそうです。上部を掘るための坑道、運び
出すための坑道に加えて、万が一の時の避難用の
坑道など、何本かの坑道を使用して工事をすす
めました。



高さ 60m 以上ある通気用のダクトと天井の一部。
ダクトは神岡鉱山の坑道につながっている。



壁にはコンクリートが吹き付けられ、岩盤に圧力をかけるためのボルトがさしこまれている。一部、追加の補強工事のあともあった。

えんとう ぶ ぶん した けんがく こうどう こん ど うえ こうどう
円筒部分の下からの見学のあとは、いったん坑道をもどり、今度は上の坑道か
はい ぶ ぶん しゅうへん けんがく しゃしん じかん
ら入ってドーム部分とその周辺を見学します。のぞきこんで写真をとる時間は
ぶん
1分ぐらいしかなかったので、あわててパシャパシャうつしてきましたが、たか
70m もあると高所恐怖症の人には怖い写真になっているかもしれません。



水そうにためる超純水を作る機械が入る予定の「純水室」。高さ 20m ほどあり、
ここだけで初代カミオカンデの2倍ほどの広さがある。

どこをみても「ひろいな～」、「でかいな～」
というかんそうでした。じかんがたりず、ざんねんが
らつつこんだしつもんまではできなかつたので、
またなにきかいがあれば、ぎもんをぶつけてみ
たいとおもいます。



ドームの天井部分。工事の初期に掘られた部分
で、難しいところでもあったそうです。



さっきまでいた場所を上から見下ろしたところ。ショベルカーと比べると、広さがわかります。



緑色のコーンがあるところが中心です。ちなみに、コーンは170cm ぐらいあります。人も小さく見えますね。

みなさんも、この夏休み^{なつやす}にどこか^いに行ったら、ぜひ記録^{きろく}をとって^{くだ}みて下さいね。

おみやげ話^{ぼなし たの}も楽しみにしています。

25/7/31 (お盆のおでかけはどこにしようかな?) あん Do